

議長（黒沢義久君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

22番立原正一君の発言を許します。

〔22番 立原正一君登壇〕

22番（立原正一君） 22番立原正一でございます。発言通告順に、私見と既報告を引用して一般質問をいたします。

初めに1，常陸太田市を核とした県北都市構造づくりの政策について。大きく2つの項目を市長にお伺いをいたします。

1項目，常陸太田市が目指す都市像について，簡潔に6つを伺います。

1つ，茨城県総合計画による常陸太田市が目指す都市像の具現策は。

常陸太田市を中心とする高度な産業技術，特に基幹産業の特産物を含む集積と販売。臨海地区にも隣接しており，また，美的連山もあり，文化に富んだ内陸平野，河川部の豊かな自然と温泉，各種歴史的建造物，歴史寺院，県立西山研修所，市民交流センターなど，芸術文化ゾーンとしての発展可能性は増大であります。ほかに，隣接には国際港である日立港があり，常陸那珂港にも近く，また，常磐高速道路の日立南太田インター，那珂インターにも近いなど，特に唯一のJR水郡線上菅谷 - 常陸太田間を持っております。

これらの地域特性を生かし，高度産業，文化都市として，21世紀の産業をリードする新規産業の集積と生活に豊かさを与える歴史を含む芸術，文化の薫る快適な居住環境を有する都市として都市づくりを目指すべきだろうと提言をしていることから，具体策について市長に伺いましたところ，その答弁では，「茨城県の総合計画では，本市は県北臨海ゾーン及び県北山間ゾーンの2つに位置づけられております」と言われ，具体策はなく，「市単独でできることは独自に取り組んでいきますが，国，県や他市町との連携につきましても，その内容に応じ，本市の特性や発展可能性を生かした中で取り組んでいく必要があると考えております」との思考策を言われたのは，平成19年の3月議会でありました。今回は，当市単独でできるものを提案して，市長のお考えをお伺いしたいと思います。

当市の沿革は，平安時代後期より常陸太田市一帯は佐竹氏の本拠地として，約460年間地域の中心であった。江戸時代に入ると水戸徳川家の支配下となったが，それまでの地域中心機能に加えて，水戸徳川家の墓所瑞龍山や光圀公ゆかりの久昌寺，西山荘に代表されるように，江戸幕府においても重要な意味を持つ地域として扱われていた。その後，明治後期まで地域産業の中心として地域を占めてきたが，その後の政治経済の発展軸が水戸と日立を結ぶ地域に移り，本市の中心線は薄れてしまった等のことは，既にご承知のとおりであります。

当市には，佐竹氏，水戸徳川家の歴史遺産が数多くあると言われております。今，常陸太田エコミュージアム構想を取り上げて各種勉強会が講習され，常陸太田市は，地域まるごと博物館とも言われているが，各種資料を取りまとめた歴史観，または博物館等を建設して，秋田市との観光客誘致及び当市への観光客リピーター客増加の一途を考えることが最優先すべきであると考えまして市長のご所見を伺います。

2つ，竜神ダム水質，臭気について。

本件につきましては、以前から問題となっており、管理監督部署である茨城県が何かと思考策を講じ、手当てをしていたと記憶をしておりました。最近になって、当市東町住民と金砂郷地区と竜神ダム水域関係住民の方たちより、カビ臭気があり、飲料はできずにペットボトル水を購入して使用している、住民の生命を死守する行政の声が出ていないとの苦情を言われております。また昨今、本件に関する新聞報道もありました。現状経過と対策をお伺いいたします。

3つ、新宿西宮線完成の動向について。

本線の動向は、里川西部圃場整備時に関係しており、平成元年前であり、既に20年を大きく経過しているがいつ完成するのか。国の規定では、長期間休止状態になっている事業には補助金はなく、できないだろうとの声も聞いておりますが、どのようになっているのか。また、問題は何かをお伺いいたします。

4つ、耕作放棄地への除草補助金、刈り込み機械購入時補助金について。

昨今の各地区に目立っているのは、田んぼの耕作放棄地が多くなってきていることであります。雑草が茂り、隣接の地権者からの苦情が聞かれます。その中から除草するための対策と各種事業、例えば除草用刈り込み機械購入時、除草剤購入時等に対する補助金支出等が聞かれますことからお伺いをいたします。

5つ、朝市の実績の動向と開催地の支所化についてでございます。

現状は、市役所駐車場を利用した開催であります。朝市利用者、生産展示者から見た場合、各支所での開催を考えてもよいのではないかと意見もあることからお伺いいたします。

次に、2項目であります。地域都市圏の連携について、簡潔に3つお伺いいたします。

1つ、都市づくりには、都市や地域が特性を生かし、個性的な都市づくり、地域づくりを行うとともに、個性的な朝市、個性的な都市、地域間への連携と交流、自立と相互補充完成により、成長を図ることが重要となっております。

当市は、東京中野区方面に行商PR等に専念しておりますが、これからは、東京近郊の来訪者による住民の夢である仮称カントリーマーケットこれは農産物の生産、体験、販売、発送、白米の生成、各種米の御飯の試食ほか、おもちつき試食等、食育に関する各種イベントを構成した内容事業での産業会館を常磐高速道日立太田南インター隣接地区に建設して、東京近郊のバス会社との連携契約を基に、地域振興、商・農業振興の繁栄と成長、観光事業の振興を図るべきと考え、市長にお伺いをいたします。

2つ、地域都市圏との連携策をどのようにしようと考えているのかお伺いします。

3つ、当市の観光産業をどのようにしようと考えているのか。本件につきましては、既に公募によります観光事務局長さんが就任されております。その現状を含めての動向についてお伺いをいたします。

次に、財政について2つお伺いいたします。

当市へ支給されると言われております地方交付金正しくは、地域活性化・経済危機対策臨時交付金が6億3,000万円と言われておりますが、1つ、実質的には11億円前後とも聞いておりますが、正確度についてどのようになっているのかをお伺いいたします。

2つ、本市への地域活性化・経済危機対策臨時交付金としては、既に支出計上がされており、今回の補正にも出ておりますが、項目別をまとめて支出詳細を伺います。

次に3、国道バイパス整備推進動向について3つを伺います。

1つ、国道293号のバイパスの件で増井町、瑞龍町、亀作町、真弓町、大森町間の動きと予算額の動向を伺います。

2つ、各町内ごとの動向と今後の課題を伺います。

3つ、各地区の市道との取りつけ道路の動向についてお伺いいたします。特に、本件につきましては、亀作町、真弓町から申請が出ております市道拡幅整備事業の動向及び市道と国道との交差点が平面交差とあるが、学童の通学道路であることから、安心・安全面での問題を考えますと改善策は講じているものと考察いたしますが、お伺いをいたします。

次に、県道日立笠間線の動向について2つ伺います。

本線の動向経緯は、20年前後になると記憶しております。以前は県土木事務所これは太田土木事務所の事業関係地図に、県道日立笠間線道路が提示記入されて掲示されていましたが、現在は、その地図が変更されており、常陸太田管内の日立笠間線の提示が消えていると言われております。これは常陸太田管内分の工事稼働実行の方向が確立提示されていないということであると聞いております。日立地区におきましては、高萩土木事務所関係により大分進んでいるように聞いております。

1つ、常陸太田木崎町トンネル工事の動向をお伺いいたします。

2つ、本線の工事開始への企画立案の動向をお伺いいたします。

次に5、日立電鉄線跡地の動向についてでございます。

本件については、以前から話題となっております。世矢地区川中子駅跡地には、本市がお骨折りしてJA茨城みずほのライスセンターが完成して稼働2年目となりました。日立電鉄線軌道軸の現状には雑草も茂っているところもありまして心配をされております。日立市等につきましては、利用稼働が進んでいるように見えておりますが、本市の動向についてをお伺いいたします。

次に6、常陸太田駅周辺開発整備動向確認と提言について、3つを伺います。

1つ、現状の動向についてでございます。

2つ、国道349号、右側歩道ができないとの情報が関係地区住民より出ていると聞いておりますが、その真相はどのようになっているのか伺います。

3つ、第2期工事を考えているのか否かを伺います。もし考えているならば、その内容についてお伺いします。考えていないとあれば、私より提案をさせていただきます。

内容につきましては、常陸太田駅周辺、特に、駅前の街並み、常陸太田駅前国道293号南側の一部を本市が買い上げるか、開発企業者との話し合いによる整備等を行うことで、常陸太田駅を利用して来場する人も増加するものと考えます。また、国道349号バイパスまでを拡幅整備をして、友好都市秋田市の竿燈祭り等を毎年でも開催して、広く新生常陸太田市をアピールすることが不可欠と提言をいたしまして市長にお伺いをいたします。

次に7です。本市公共事業入札参加資格申告時の対応について。

本件につきましては、前段で同僚議員より質問されまして、市長以下副市長、それから教育長、総務部長より、適切なるご説明がございましたので、私なりに若干の疑念は残りますが、一応理解しておきたいと思います。

以上、1回目の質問を終わります。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） 初めに、常陸太田市が目指す都市像についての中で、6項目のご質問がございますが、1項目めの歴史館または博物館等の建設についてお答え申し上げまして、以下、2項目から6項目につきましては、担当部長より答弁をさせていただきます。

議員もご案内のとおり、本市では、自然環境や歴史、文化遺産など、有形、無形の地域資源を磨き活用するエコミュージアム活動をまちづくりの基本の1つと位置づけまして、市内の各地域における国、県、市指定文化財を生かした集中曝涼や県指定史跡の整備を初め、各地の伝統文化や埋もれた文化財、遺跡等の掘り起こしに努めているところでございます。

今後についてでございますが、現在、市郷土資料館は、市の歴史や郷土資料の展示会場としての機能を担っておりますが、この建物につきましては、築後70年以上を経ておりまして、この建物自体が歴史的価値を有しておりますとともに、老朽化が進み、耐震についても安全性の確保が心配されておりますことから、今年度、総合劣化調査を進めているところでございます。

今後は、調査の結果を踏まえ、本市のエコミュージアム活動の中核的拠点と整備をし、資料館としての機能だけでなく、市民の集える施設としての機能の充実を図ってまいりたいと考えております。

また、金砂郷、水府、里美の3地区にも、それぞれに培われてきた郷土の歴史、文化を初めといたしまして、数々の地域資源がありますことから、公共施設等の活用を図り、市民を初め、当市を訪れる方が集い、学び、触れ合う場として整備してまいりたいと考えております。

そして、さらなる交流人口を増やすためには、情報発信機能の充実とともに、本市の豊かな農産物を使ったもてなしや、農林業など自然のフィールドを活用した体験メニューを取り入れていくことが重要であると考えておりまして、現在そのような受け入れ体制の構築に努めているところでございます。

次に、地域圏、都市圏との連携についてのお尋ねにお答えします。

本市では、都市との交流を進めるに当たりまして、まずは、都市部の皆様に常陸太田市を知っていただくことが肝要との方針のもと、これまでも竜神大吊橋等の観光施設を中心にPRに努めてきたところですが、最近のニーズは、体験や触れ合いに加えて安全・安心な食材等にも強い関心が向けられております。こうしたことから、東京中野区や港区の地域づくり団体等との連携を深めながら、里山交流、経済交流、体験交流等を行ってきたところでございます。その成果として、本市の環境や食材等への関心が高まり、鯨ヶ丘散策や竹林整備体験等にも団体で訪れていただけるようになってまいりました。

都市在住の方々に本市においていただくためにも、大型の施設をつくって人を呼ぶなどの考え

はとのことですが、今後はさらに、市内の魅力ある資源を有効活用して、官民、地域が連携して、受け入れ体制の醸成や情報の発信により交流を促進することが肝要と考えますので、交流促進施策の1つとして、本市の農産物や観光資源等の魅力を一元的に発信できる機能を持つ施設の必要性につきまして検討することとしているところでございます。

次に、観光物産協会事務局長を公募して、それをもとに産業観光についてどのように考えるかというご質問にお答えをしたいと思います。

本市の観光振興を進めるために、外部からの視点で地域を見ていただき、新たな観光資源の創出や地域の特性を生かした魅力ある観光イベントの創造等の取り組みを進めていただいております。これを進めていきますために、地域の調査やヒアリングを行いまして、取り組むべき課題等を整理しているところでございますので、今後は市が策定いたします本市の観光振興計画との連携を図りまして、課題の整理、推進に努めてまいりたいと考えております。

また、これまでの観光物産協会の活動、取り組みにつきましては、主に行政が担ってまいりましたが、事務局長を中心として新たな体制づくりを行い、既存イベントへの参画だけでなく、地域における観光振興に観光物産協会が主体となれるよう、現状と課題を共有し、協議しながら取り組んでまいりたいと考えてございます。

次に、常陸太田駅周辺開発整備動向確認と提言についてお答えをいたします。

まず、駅周辺整備事業の事業内容についてでございますが、市では、平成20年度は、こ線人道橋、ペDESTリアンデッキ撤去工事、暫定駅前広場整備工事を実施しております。平成21年度は、既に駅西区画道路工事に着手しており、9月には歩道橋撤去工事、11月には停車場増井西線拡幅工事発注を予定してございます。JR東日本との契約の中で、平成21年度には駅舎、軌道敷設、ホーム整備工事等を実施してまいります。また、国道293号駅前交差点などの用地買収に着手する予定でございます。

次に、国道349号の歩道整備についてでございます。駅から駅前郵便局までの歩道整備につきましては、駅前交差点改良事業として進めておりまして、国道293号の整備を先行いたしまして、その後に、国道349号を整備することとしておりまして、整備をやめることはございません。

次に、駅周辺地区の新たな事業計画でございますが、事業手法などについて、住民の皆様と整備のあり方などを検討してまいりたいと存じます。

議長（黒沢義久君） 水道部長。

〔水道部長 高橋正美君登壇〕

水道部長（高橋正美君） このたびの水道水から異臭についてですが、水府地区におきましては8月24日に、金砂郷地区につきましては9月2日に異臭の通報が寄せられました。水道部として直ちに浄水場の水源である山田川のそれぞれの取水口並びに山田川に合流する竜神ダムを調査し、強いカビ臭を感じました。このため、水質事故用に備蓄しております粉末活性炭を水で溶いてそれぞれの浄水場の着水井に投入を開始し、原水の水質改善を図るとともに、浄水の水質検査を実施しました。検査の結果、カビ臭のもとである「2-メチルイソボルネオール」が快適な

水の基準値を超える値で検出されました。

茨城県の対策等の要望につきましては，8月27日に竜神ダム管理事務所に出向き，ダム水の水質改善を，また，9月3日に茨城県那珂水系ダム建設事務所に出向き，異臭発生の原因究明とダム水の水質改善，並びに今後このようなことが起きないように根本的対策を講じるよう強く申し入れをしてまいりました。これらにより，湖水循環装置の24時間運転とダム放流水量の減量が行われ，9月7日の朝には山田川との合流地点におけるダム放流水の異臭を感じなくなりましたので，翌日，原水並びに浄水の水質検査を実施しました。この結果，原水及び浄水ともに「2-メチルイソボルネオール」の検査値が基準値以下となり，異臭を感じなくなりました。9月中旬にはダム建設事務所より原因と対策について報告がありますので，内容を検討し，最良な方法を要請してまいります。

また，今後につきましても迅速な対応が図られるよう，原水監視の強化と資機材の充実を図り，安全・安心な水道水を供給してまいりたいと考えております。

以上です。

議長（黒沢義久君） 建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 常陸太田市が目指す都市像についての中で，建設部関係のご質問にお答えいたします。

新宿西宮線完成の動向についてでございます。新宿西宮線につきましては，新宿町地内の市道0121号線から太田進徳幼稚園まで約350メートル区間におきまして，土地の共有地などの問題が解決に至らず，平成16年度以降事業は休止している状況にあります。本路線は，重要な幹線道路でございますので，用地の取得が課題となっておりますことから，現在，事業の再開に向けて，共有地の関係者などの調査を進めているところでございます。

次に，国道293号バイパス整備推進動向についてお答えいたします。県では今年度，増井瑞龍工区につきましては用地の取得，常陸太田工業団地から東側につきましては測量及び工事を実施する予定と伺っております。

まず，国道349号西側の増井瑞龍工区延長約2,110メートルの進捗状況でございます。このうち増井地区につきましては，源氏川西側区間の用地取得をほぼ完了し，増井地区全体での用地取得は平成21年8月末で約20％となっております。また，瑞龍地区につきましては，現在までに約80％の用地を取得しており，本年度内に用地取得をすべて完了する見込みと伺っております。

次に，常陸太田工業団地から東側の大森町国道293号までの区間，約3,200メートルについてでございます。本年度は日立電鉄線廃止に伴い，計画見直しを行いました世矢小学校前から大森町国道293号区間について，7月に事業説明会を開催し，地元の承諾をいただいたことから，現在，用地測量を進めているところでございます。さらに，亀作町の亀作川に仮設される橋梁の上部工及び橋梁東側の取り付け道路を施工し，本年度完成する予定と伺っております。

なお，本年度の予算についてでございますが，当初予算3億2,000万円に加えまして，新た

に補正予算3億円を内示され、世矢小学校付近の工事を実施する予定と伺っておりますので、一層事業が進捗することを期待したいと存じます。

また、事業を推進する上での課題につきましては、特に県より伺ってはございませんが、市といたしましては事業が円滑に推進できますよう、これまでどおり県と地元の調整を図ってまいりたいと考えております。

次に、各地区の市道取りつけ道路の動向についてでございますが、市道の利用状況を踏まえまして、市民生活に支障のないよう、県と調整を図ってきているところでございます。亀作町、真弓町にまたがる市道4198号線と国道293号バイパスの交差点についてでございますが、バイパスとの交差点は平面交差により整備することとして、詳細につきましては、現在、県において調整中でございます。

また、市道4198号線につきましては、特別養護老人ホーム世矢の里付近から、県道亀作石名坂線まで、約1,500メートルを整備する予定であり、整備に当たりましては、児童生徒や道路利用者の安全を確保するため、歩道を設置する計画としております。

次に、県道日立笠間線の動向についてお答えいたします。

まず、木崎稲木線トンネル工事についてでございます。県では9月2日に、都市計画道路木崎稲木線仮称常陸太田トンネル工事として、一般競争入札を公告しており、県議会で工事請負契約の承認を受けて着工し、平成22年度末の完成を目指すと伺っております。

次に、本線の工事開始への企画立案の動向についてでございます。整備が進められております亀作ルートにつきましては、本年度は県道亀作石名坂線より南側の市道4158号線との交差点改良工事を予定しているところでございます。真弓ルートにつきましては、日立市内の山側道路の進捗状況を踏まえ、事業を推進すると伺っております。この路線は本市にとりまして重要な路線でございますので、引き続き沿線自治体で構成しております日立笠間線県道改修期成会とも連携するなどして、整備促進を強く要望してまいります。

県の事業関係についてでございますが、機初団地からのルートなど、日立笠間線の未整備区間の今後の常陸太田管内の整備方針につきましては、現在のところ県から示されてはおりません。市といたしましては、社会経済状況から現在整備が進められている木崎トンネル亀作ルートの早期完成、真弓ルートの早期事業着手を要望しているところであります。残りの区間の整備につきましては、将来的には市にとりましても必要な道路でありますので、整備、要望の時期などにつきましては、今後検討してまいります。

議長（黒沢義久君） 産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

産業部長（赤須一夫君） 常陸太田市が目指す都市像についての耕作放棄地及び朝市にかかわる質問にお答えをいたします。

まず、耕作放棄地の解消についてであります。国においては、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金が平成21年度に制度化されており、これを受けまして、当市において担い手育成総合支援協議会が実施主体となり進めていくこととしているところであります。

進めるに当たりまして、支援内容といたしましては、雑草や雑木などの障害物を除去、耕地とするための深耕や整地は、10アール当たり3万円または5万円、伐根など重機を用いて行う場合はその経費の2分の1、さらに、整地後の農地に肥料を投入し土壌改良を行う場合は、10アール当たり2万5,000円、その他、作物の種子代として10アール当たり2万5,000円、また、農業用機械をリースする場合は、そのリース代の2分の1を支援する内容となっているものであります。

なお、個人への農業用機械購入の支援については規定されていないため、市担い手育成総合支援協議会が購入し、貸与による支援を実施することとしております。

2点目の朝市についてであります。現在、出店者による運営組織の立ち上げを進めているところであります。その組織の中で、実施場所等についても生産者が出店しやすい、そして市民が購入しやすい方法等について検討を行い、よりよい朝市の実施ができますよう進めてまいりたいと考えているところであります。

以上です。

議長（黒沢義久君） 総務部長。

〔総務部長 川又善行君登壇〕

総務部長（川又善行君） 財政についてのご質問にお答えいたします。

本市に交付される地域活性化に係る交付金については、昨年度から今年度にかけての国の補正予算によるものでございまして、平成20年度国の一次補正による地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金として3,000万円、二次補正による地域活性化・生活対策交付金として4億9,191万9,000円、平成21年度一次補正による地域活性化・経済危機対策臨時交付金として6億3,013万4,000円となっており、合計で11億5,205万3,000円が配分されております。

この中で、地域活性化・経済危機対策臨時交付金に係る事業と事業費でございますが、6月定例会で予算措置した事業としては、支所庁舎の身障者用トイレ改修1,037万9,000円、旧清掃センター解体撤去設計業務500万円、保育所環境整備事業65万4,000円、緊急通報装置交換事業929万7,000円、総合福祉会館改修事業2,100万円、イベント用音響設備導入事業217万円、観光客誘導板設置事業813万1,000円、生活道路リフレッシュ事業1億1,000万円、自動心臓マッサージ機購入事業660万円、地上波デジタルテレビ整備事業1,749万7,000円、小中学校洋式トイレ改修事業2,500万円、公民館エアコン設置事業3,890万円、山吹運動公園テニスコート整備事業2,081万2,000円でございます。

また、今定例会で提案している事業ですが、旧清掃センター解体撤去事業2億3,551万5,000円、生活道路リフレッシュ事業3,650万円、地上波デジタル放送への対応経費として2,477万7,000円、低公害車を導入する経費として1,714万4,000円、河合駅整備事業86万円、常陸太田産米活用促進事業581万6,000円、循環型農畜産振興事業1億367万1,000円、里美ふれあい館イベント広場改修事業493万5,000円、公園遊具施設整備事業1,042万7,000円、梅津会館前広場整備事業1,599万2,000円を計上してございます。

予算計上額につきましては、6月定例会と今定例会を合わせまして7億3,107万7,000円となり、配分額の6億3,013万4,000円を上回っておりますけれども、契約差金を考慮して上積みしたものでございます。

以上です。

議長（黒沢義久君） 政策企画部長。

〔政策企画部長 江幡治君登壇〕

政策企画部長（江幡治君） 日立電鉄跡地の動向についてのご質問にお答えをいたします。

日立電鉄線跡地につきましては、旧川中子駅をライスセンターの用地として利活用しておりますほか、小目町地内におきまして、市道整備用地として利活用することとしております。本年度整備に着手したところでございます。

また、これ以外の用地につきましては、市道、特に生活道路用地、既存の集会所用地及び西小沢地区における再圃場整備に伴う市道の創設用地としての利活用を計画しているところでございます。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 22番立原正一君。

〔22番 立原正一君登壇〕

22番（立原正一君） 2回目の質問に入ります。

ただいまは、6項に関しまして説明をいただきましてありがとうございました。2回目に若干の項目について確認をする意味から質疑をしたいと思っております。

まず、1項目の1つ目でございます。これにつきまして、ただいま市長より細かなご説明をいただきまして理解をしないんですけども、今、常陸太田市に、街並みをご案内する方がボランティアでやっておられますが、その方たちと、常陸太田市を案内することについての現状、それから、今後どうだという話でお伺いしたときに、まず出てきたものは、常陸太田の徳川家と佐竹につきましては、先ほど市長からありましたように、保管する建物が古くなって、いろいろ調査に入って、その辺から新たな思考策も出てくるようなご答弁でございましたけれども、やはり、そういう関係者のお話を聞きますと、あの場所に置いていたのでは非常にもったいないと。ですから、早目にそういうものをまとめた形の中で表に出しまして、駐車場等も考えながら、多くいろんな方に見てもらったらどうなんだろうというご意見も最近出てきております。

私は以前からこの件に関しましてお話申し上げているわけですが、なかなか形が見えてきませんが、やっと今現在の建物の老朽化とか、耐震とかの問題が出てきたということで調査が入ることですから、まもなく何かの形が出てくるのかなと思って理解しておきたいと思っております。一応そういう方たちからも問題が出ているということだけをご理解していただきたいと思っております。

それから、同じくこのボランティアの方街並みを案内している方ございますが、最近彼らたちのいる場所がなくなったというふうなことでございます。それは何かといいますと、多分、桃源の右側のほうに場所がありまして、そこにいたなと記憶しておるわけですが、その辺を

最近工事か何かをするんだというようなことから、その場所をとられちゃって、現在では、桃源のお店の前のベンチ等に腰かけるほかないんですよというような話を聞いておるわけですが、その辺の動向と、それに対してこれからどのように考えていただけるのかをお伺いしておきたいと思っています。

それから、2つ目の竜神ダムの件でございますが、これは説明の中にもありましたように、茨城県の管轄ということでございます。私もこの話題を東町の方とお話したときに、これは県の管轄だと。それについてはいろいろやっていたんですけどねという話をしたんですが、その町の住民の方のお話でいきますと、常陸太田市が住民を守るために、いろいろと行政運営されているんでしょうと。ですから、こういう問題については、言われぬ前に情報をキャッチして、住民に意見なり動向について行動していただきたかったと、行動すべきだろうというふうなことを強く言われたんですが、この辺のことについてできなかった背景、遅れた背景を確認させてください。

それから、3つ目でございますが、今、いろいろ建設部長から話がありまして、現在について、これから土地の関係の調査をするというような話でございますが、いずれにいたしましても、冒頭で申し上げましたように、相当な期間を過ぎているわけですね。今後、本市としてこれを完成させるといってお考えでいるのか、それを聞かせてください。

次に4つ目でございます。耕作放棄地に関しまして、担当部長からご説明いただきました。この件に関しましては一応理解をいたしますので、その辺のお話をしていきたいというふうに考えてございます。

それから、朝市の実施の件でございますが、いろいろ出店のしやすいよう進めていくというようなことも言われておりますことから、これは一応理解をしておきたいと思っております。

次に、2項目の地域圏、都市圏の連携についてでございますが、これにつきましても市長からいろいろご説明いただきました。これについても今後、当地区の農産物の件について検討していくという話でございますが、東京まで行って宣伝するのもいいでしょう。しかし、何か機会をつくってやることにより、都心部のほうからこの茨城の県北に来たいという人も私は少なくないと思うんです。私も板橋に知り合いがいるものですから、こちらから送っている品物に対して感謝しながら食べていますという話があるんですが、時にはこちらのほうに来てくれたらいかがでしょうかとお話したときに、機会があればねというお話をされるものですから、あえて私は、そういう関係者の方と話をしている中でも自分の考えを述べているわけでございますので、都心に住んでいる方もそういう機会があればということですから、そういうことを考えながらバス会社との提携などしながら、向こうで募集していただければ、都民の方たちも目についてこちらに来る機会等ができ、そして、この県北のほうにも足を運んでいただけるものと思っております、お伺いしているわけでございますので、一歩進んだお考えをいただきたいと思っております。お願いいたします。

それから、都市の観光産業の件に関しましては、一応理解をしておきたいと思います。

それから、財政について部長よりお話をいただきました。これは理解をいたしますけれども、ちょっとお尋ねしておきたいのは、政権が変わるんだろうと思いますが、その中で一部の補助金

の無駄を排除し、出したものまで返還をさせることもあり得るというようなことが昨今言われております。そういうことを考えますと、今、いろいろと出ておりますが、当市として、そういうことがあったときに影響度というんでしょうか、どういう影響度があるのか、現時点でわかるところで結構でございますので、お知らせいただきたいと思っております。

次に、国道349バイパスの件でございますが、これもいろいろ細かく説明いただきました。理解をいたしたいと思っております。そこで、先ほども申し上げましたように、亀作、真弓町から申請の出ているところ、これは世矢の里といいましょうか、あそこから1,500メートルぐらいの整備をするというお話でございますが、あそこは非常に狭くて、雨が降ると道が川になっちゃうんですね。そういうところで、小学校の1年生あたりもあそこを通っているわけでございますので、早くやっていただければ地元の方もありがたいだろうと思っておりますし、安全面からも十分に助かると思っておりますので、県土木のほうに話しまして、できるなら293号が完成する前に、あの交差点等を完成するような方向で働きかけをお願いしておきたいと思っております。

それから、県道日立笠間線の動向でございますが、これにつきましては随分と日がたっておりますが、説明の中ではトンネル工事については、21年度には完成するというお話がありますから、これは期待したいと思っております。

それから、本線の工事開始の企画立案の件でございますが、これはやっぱり言われていますように、日立地区からとしますと、亀作線、それから真弓線のほうは、早く日立笠間線については、日立と太田のところが貫通するのはここだと思っております。これは以前にお伺いしたときに、大久保市長が、「私がこちらの関係の責任者だ」ということで聞いておりますが、これは早急に完成するような形をとっていただかないと、せっかく293号が大森町まで完成しましても、その国道293に投資したお金の利益には関係なくなってしまうものですから、この日立笠間線と293号のドッキングによりまして日立笠間線を利用するというところで、利活、利益を考えているというような話でございますから、早目の貫通を切にお願いしておきたいと思っております。その辺につきまして市長にひとつコメントいただきたいと思っております。

それから、5番の日立電鉄線跡地でございますが、これにつきましては、いろいろお話がありました。これにつきましても理解しますが、私、1つお伺いしておきたいと思っております。

これは、西小沢地区岡田町あたりの方なんですけど、当時、電鉄線ができるときに、私の田んぼが分割されちゃったと。それで、今こうして使われなくなれば、その分解した後の軌道軸を安価で戻してもらえないかというような相談を受けておりますが、市長の所見を伺いたいと思っております。

それから、駅周辺につきましては、市長も今後住民の方たちとお話をしていくということでございますが、ということは、第2期工事等を考えているというようなことによろしいのか。その点をご所見いただきたいと思っております。

以上、ただいま何点が申し上げました件をご答弁いただきまして、私の質問を終わりたいと思っております。ありがとうございます。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） まず初めに、観光拠点となる施設に関して、当市にとりましてもそういうものが不可欠という観点から、施設をどういう形でつくればいいのか、検討組織を立ち上げて今検討に入ったところであります。考え方はお金の出所をどうするかということが1つ、極めて大きな課題でありますが、駐車場、そしてトイレ、交通案内所が国交省の道の駅補助事業ということになります。物産、物品の販売等については、農水省関連の補助事業を入れていけな
いか。さらには、単なる道の駅物産センターではなしに、この県北地域について、交流拠点の施設になるような、都会と地域とをつなぐコーディネーターの役目もできるような、あるいは当然情報発信等々、さらには、できたら簡単な体験等々についても近場でできるような施設の整備をしていきたいということで、今検討に入った段階ですから、それ以上のことは申し上げられませんが、そういう状況でございます。

2点目の、ただいま話題になっております政権交代による補助金、あるいは交付金等の停止等については、一部停止されたものについて、まだ現在のところ当市に影響のあるものはございませんけれども、今後、さらにこの停止に向けて動きは出てくるだろうというふうに予測されます。今回の補正予算で議論していただきます中身につきましても、この補助金、交付金等の凍結、打ち切り等がございました場合には、遅滞なく議会にもご報告をいたしまして、事業を中止することもあり得るという前提で進めていきたいと思っております。

次に、日立笠間線の真弓山トンネルのお話がございました。日立笠間線というのは、真弓山のトンネルを抜けて日立市の山側道路から北側について、今工事中のところがあります。そこも日立笠間線なんです。今、日立笠間線にかかっている財源、それは目いっぱい財源を投入をしていただいておりますが、まずは、日立市内の交通渋滞の緩和ということが日立笠間線にとって大きな役割を果たしますので、そちらの工事を進めるということを最優先として、今進めているところであります。そちらが終わりますと、ちょうど日立市の山側道路、真弓山トンネルが出ていったところを境界として、その南側は日立市が整備をした道路、その北側は県事業として日立笠間線として今整備を進めている、そちらのほうの道路整備が終わっておりませんので、それが済み次第、次の真弓山トンネルへかかると、そういう順序づけをしながら進めているところでございます。

次に、電鉄線の岡田、小沢に関する線路敷き跡地についての、もともとの地権者の方が買い戻したいというお話の趣でありますけれども、この岡田、小沢につきましては、圃場の再整備事業に向けて組織が立ち上がって動いてきております。そういう中で、この線路敷きについては、市道等への創設用地として充てていくという考えであります。したがって、現時点、地権者の方がどういう状況にあるのかよくつまびらかにはわかりませんが、その土地を買ったにしても圃場整備の中でまたやり直しということになるかと思っておりますので、圃場整備の中で整理をしていきたいというふうに思います。

最後に、常陸太田駅周辺の整備についてのお尋ねがございました。まずは今、進めております駅前の交差点改良等々の事業について、これを予定どおり進めるということが先決であります。一部道路敷きが決まりましたところに民間の金融業が出てくるという話になっております。合わ

せてコンビニエンスストアも来ると。それ以外の、先ほどのお話の中にありました国道293よりも南側の地域については、道路沿いに店、住宅等が何軒か並んでおりますけれども、その後は更地になっているという状況だと思えます。これらにつきましては、地権者の皆様方との相談をする必要がありますけれども、何らかの手段を講じての整備が必要だと。あるいは、それを進めたい、そんなご意見がありましたら、そのことには行政としても支援はしていきたいというふう考えているところでございます。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 水道部長。

〔水道部長 高橋正美君登壇〕

水道部長（高橋正美君） 2回目の質問にお答えいたします。

住民への情報ということですが、防災無線及び市ホームページ等に掲載しまして、異臭の発生源、それから異臭が現在発生しているということ、それと健康に影響がありませんと、あと、カビ臭のとり方について防災無線、ホームページ等を活用して情報を発信しているところです。

また、二、三日遅れたんですが、今回の異臭騒ぎといいますか、ダム建設後、異臭について初めてのことでありまして、この混乱をもとに反省をし、今後迅速な対応をしまいたいと考えております。

以上です。

議長（黒沢義久君） 建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 新宿西宮線の2回目のご質問にお答えいたします。

残る区間の整備につきまして、完成させる意向があるのかどうかというご質問でございますが、先ほど申し上げましたように、課題となっております共有地の関係者の調査を進めているところでございます。この共有地に関しましては、明治40年ごろに国有地の払い下げを受けたものでございまして、その後、5人の共有地でございましたが、相続関係が発生しておりまして、現在までの調査では110人の関係者がいるということがわかってまいりました。

今後は、新宿西宮線は重要な幹線道路でございますので時間は若干かかるかもしれませんが、完成に向けて努めてまいりたいと考えております。

議長（黒沢義久君） 産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

産業部長（赤須一夫君） まちかど案内人の事務所についてのご質問にお答えいたします。

現在、案内人の会の現地事務所につきましては、桃源の食堂の一角を利用して案内業務を行っているところであります。今回の桃源リニューアルの事業の中で使用ができなくなってしまうことから、現在、案内人の会の代表と場所について協議をしているところでございます。案内人の会が引き続き、西山荘一帯の案内業務に対しまして、支障のないように業務が実施できるよう、現在対応をしているところでございます。協議をしながら進めてまいりたいと思っております。

以上です。